

第343回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

期日 2020年1月29日(水)

会場 東ソー株式会社 本社

住所：東京都港区芝三丁目8番2号(芝公園ファーストビル)

交通：都営三田線 芝公園駅(A2出口) 徒歩5分、都営浅草線/三田線 三田駅 徒歩10分

都営大江戸線 赤羽橋駅(赤羽橋出口) 徒歩5分、JR 山手線/京浜東北線 田町駅 徒歩15分

URL：<https://www.tosoh.co.jp/company/location/headoffice/index.html>

開催趣旨

LC-MS測定は高感度と選択性の高さから、多くの事業・研究領域で活用されるようになりました。しかしながら、高機能ゆえに生じる課題もあり、中でもキャリアオーバーや試料吸着の問題で多くの研究者が悩んでいます。本例会ではHPLCの基本原理に立ち戻り、キャリアオーバーや試料の吸着がおきるメカニズムを確認し、それを回避するための方策について勉強したいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講演主題 「LC-MS測定におけるキャリアオーバーと試料吸着のメカニズムと対策」

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13:00~13:05)

(味の素(株)) 中山 聡 (LC分析士初段)

1. 液体クロマトグラフィーにおける注入方式とキャリアオーバーへの影響 (13:05~13:35)

(日本ウォーターズ(株)) 寺崎真樹 (LC/MS分析士初段)

2. キャリーオーバーゼロへの取り組み—オートサンプラーにおける対策を中心に— (13:35~14:05)

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹 (LC分析士四段、LC/MS分析士二段)

3. LC分析におけるキャリアオーバーと吸着の原因及び対策 (14:05~14:35)

(株)島津製作所 寺田英敏 (LC分析士二段)

4. バイオアナリシスにおけるキャリアオーバーとその対策 (14:35~15:05)

(株)住化分析センター 松井誠一 (LC分析士初段、LC/MS分析士二段)

休憩 (15:05~15:30)

5. ペプチド吸着のメカニズムと対策 (15:30~16:00)

(第一三共(株)) 合田竜弥 (LC分析士二段、LC/MS分析士初段)

6. キャリーオーバー対策の事例とBMVガイドライン対応 (16:00~16:30)

(味の素(株)) 中山 聡 (LC分析士初段)

7. 総括「LC-MS測定におけるキャリアオーバーと試料吸着のメカニズムと対策」 (16:30~17:00)

(東京理科大学) 中村 洋 (LC分析士五段、LC/MS分析士五段)

参加費

LC 研究懇談会会員：1,000円

協賛学会(日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会) 会員：3,000円

その他：4,000円

学生：1,000円

(参加費は当日申し受けます), 申込み締切後はそれぞれ1,000円増額になります。

情報交換会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します。(会費 4,000円)

参加希望者は必ず事前にお申込みください。(参加費は当日申し受けます)。

申込み締切後のご参加は、当日欠員が生じた場合に限り4,000円で受け付けます。

申込締切日

2020年1月23日(木)までにお申し込みください。

申込方法

参加希望者は、氏名、勤務先(電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、FAX またはE-mail により下記までお申込みください。

参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304 号

公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

(電話：03-3490-3351, FAX：03-3490-3572, E-mail：kondankai-hp@jsac.or.jp)